



市・有形文化財 美術工芸品（古文書）

雲門寺壁書

魚津市上村木（常泉寺）

雲門寺は常泉寺創建前の松倉城主椎名氏の菩提寺であったが、上杉氏の兵火に罹って焼失し廢寺となった。

この壁書は、雲門寺の方丈に掲げられていたもので僧たちの修行上の禁止事項を書き連ねてある。

- 壁書（泰藏院夫殿花押）
- 一 三時之行夏除沙弥而一人懈怠之事
 - 一 常住之打飯之外小寮仁世夏之事
 - 一 着打飯衆之普請掃地懈怠之事
 - 一 於寺僧中米錢共利々陪々之事
 - 一 寺中仁置弓箭刀杖武具之類事
 - 一 白衣仁而公界往來之事
 - 一 小寮之内圍火炉持裸火之事
 - 一 有公夏僮漢許容之事
 - 一 講自倍堂万住持寺僧狼藉之事
 - 一 右堅守此旨寺僧者可為如水魚
- 若違犯之輩者早々可出院者也仍壁書如件
雲門寺方丈仁置之